

アジアの生活インフラとして

イオンフィナンシャルサービスは「金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」として、アジア各国において、お客さまの日々の暮らしに寄り添った金融サービスを提供します。

イオンフィナンシャルサービスは1981年、小売業発の総合金融会社として誕生しました。以降、クレジットカード事業をはじめとする多様な決済サービスの提供や、365日お立ち寄りいただける銀行事業等、小売と連携した金融サービスの提供によって、お客さまの生活のニーズに対応してきました。

なかでもアジア各国においては、急速な経済発展や地域の特性に合わせた金融サービスの提供によって、より豊かな生活をサポートしてきました。昨今ではIoTや人工知能(AI)等の技術が進展していくなか、こうした技術を活用したデジタル化を通じて、お客さまの日々の暮らしを豊かにするため、社会的課題の解決に取り組んでいます。



フィリピン

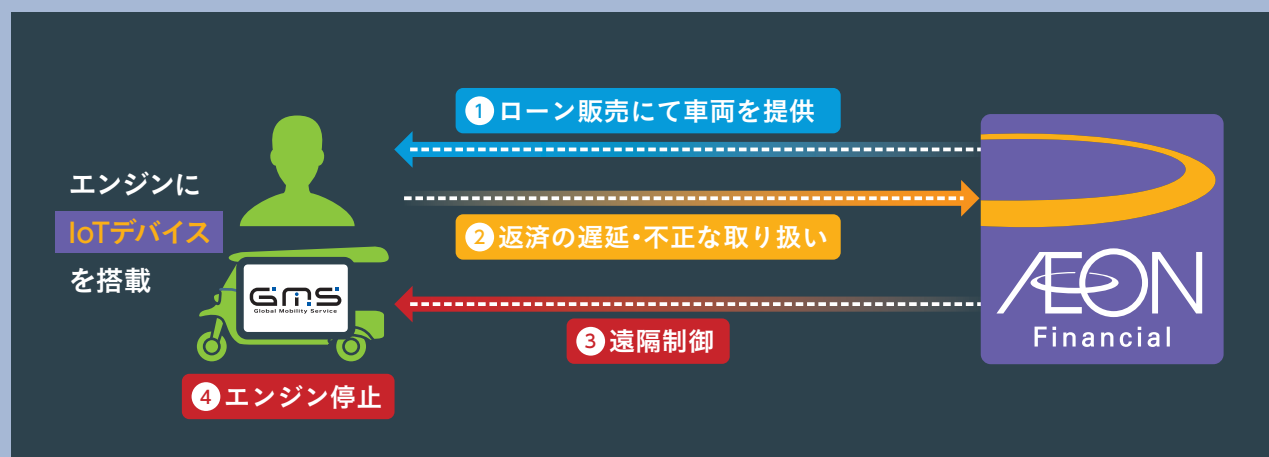
IoTデバイスを活用した トライシクルドライバー向け オートローン事業

2017年7月、当社子会社であるAEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.はGlobal Mobility Service Philippines, Inc.(以下、GMS社)とオートローン事業にお

いて、IoTデバイスを活用したトライシクルドライバーを対象としたローンを開始しました。

人口1億人のうち2,650万人が貧困層とされるフィリピンにおいて、1度の乗車につき10ペソ〜40ペソ(25円〜80円)と非常に安く利用できるトライシクルはフィリピン国内における車両登録割合の約半数を占め、国民の移動手段として広く浸透しています。しかし、トライシクルドライバーとしての就業を希望する多くの人々は、信用が不足することでローンを

オートローン事業のスキーム図





利用することができませんでした。当事業は、IoTデバイスを活用することで、こうした人々の信用を補完し、就業の機会を創出しています。

具体的な事業スキームとしては、トライシクルのローン購入希望者に対し、提供する車両にGMS社が用意したIoTデバイスを搭載。このIoT技術を活用することで、車両の遠隔制御を実現しました。返済の滞留や、不正な端末の取り外しが発生した際、エンジンを停止させる仕組みとなっており、返済状況とエンジンの稼働を連動させることで、これまで信用不足で審査対象外となっていた方々へ信用を供与することで、ローンの提供が可能となりました。

当事業における協業は「頑張る人が正当に評価される社会」を実現するべく、低所得者層に金融サービスを受けられる機会や就業の機会を提供することで、一人ひとりにより豊かな暮らしを提供することを目的としています。当社の経営理念である「金融サービスを通じ、お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」と、GMS社の経営理念である「モビリティサービスの提供を通じ、多くの人々を幸せにする」という両社の経営理念に基づく事業となりました。

すべてのステークホルダーに価値を提供

こうした新たな取り組みは、さまざまな側面で価値を提供しています。

【お客さまに対して】

金融サービスの利用を通じて、就業機会を提供

まず、お客さまにおいては、フィリピンの信用情報機関が未発達であることから、ローンの返済能力について正しく測定することができないために金融機関審査を通過できずロー

フィリピンの経済・環境を改善するパートナーとして

Global Mobility Service
Philippines, Inc.
取締役 中嶋一将氏



ただ単に車を販売するのではなく、ドライバーの方や、お客さま第一の考えのもと、どうすればお客さまが幸せになるかということを私たちも常に考えて行動しています。そこがイオンフィナンシャルサービス社の理念とも通じるところであり、非常に重要だと考えています。イオンフィナンシャルサービス社との協業は、より多くのお客さまに対してファイナンスの機会を提供できるだけでなく、フィリピンの経済や環境の問題に対する対応といった観点からも効果的だと考えています。

トライシクル・タクシー産業に大きく貢献

Tricycle Operators And
Drivers Association, Inc
President
アルビン・T・ニアプレス氏



イオンフィナンシャルサービス社が参入する前は、車両を手にするができず、働くことができないといった人たちが多くいました。今ではGMSフィリピン社とイオンフィナンシャルサービス社の取り組みによって車両のオーナーが増え、私たちも仕事がしやすくなりました。従業員たちも自分の車両を手にするができて幸せそうに働いてくれています。熱心に働き、売上も良好です。



就業機会を獲得し、 豊かな生活を実現

イオンフィナンシャルサービスの
オートローン利用者の声

高いレンタル料を気にしなくてよくなりました。毎月のローンの支払いだけを考えればよくなり、ベストチョイスだと思っています。自分が所有者になるのでモチベーションも高いです。また、生活面においても、以前は家族を小さな食堂にしか連れて行くことができなかったけれど、今はレストランだけでなく、ショッピングモールにも連れて行けるようになりました。これも、ドライバーとして働けるようになり、多くの収入を得られるようになったからです。



フィリピンにおける オートローンを含めた 金融サービスを追求

AEON CREDIT SERVICE
(PHILIPPINES) INC.
代表取締役社長 荒木 孝之

収入が上がること、自分の車が持てることによる労働意欲の向上と、雇用の創出に貢献できていると実感しています。今まで働きたくても機会がなかった、という状況に対し、私どものファイナンスを提供した結果、彼らの生活水準が生まれてくる。その成果は、社会貢献型モデルの一つではないでしょうか。今後は、環境に配慮した電動トライシクルや、電気自動車タクシーへの展開を検討しています。

金融サービスを通じてお客さまの生活や、未来につながる信用を築くという、生活密着型のお客さま第一、金融サービスの展開で社会の信頼を得ていく。こうしたものの具現化ができた象徴的な例と捉えています。

ンを利用できない人々が多くいます。新しくタクシーや物流事業への就業を希望する人々にとっては、働く手段の自動車を手にする段階で大きな壁となっています。当社のオートローン事業はこれまでの金融の枠組みでは取り扱いが難しいとされてきた人々へのサービスを実現し、雇用を創出することでお客さまの暮らしにもっと価値をもたらします。

【社会に対して】

環境に配慮した車両購入を支援し、
大気汚染問題の改善に貢献

フィリピンでは排気ガスや騒音は環境課題となっています。本事業の取り組みにより、老朽化した古い車両から環境に配慮した低排出ガスの新型車両の導入を推進することで、環境の改善という価値を社会にもたらします。今後はEV車での活用も視野に、環境に配慮したさらなる取り組みを進めていきます。

【当社に対して】

保全を担保し、高い収益性を確保

この与信情報に基づきさらなる融資を可能に

当社においては、事業開始から順調に取り扱いが拡大し、約1年間で約1,000台のローンを提供しています。取り扱い開始以降、高い返済実績を残しており、貸倒引当金繰入額の低減・利益向上に貢献するものとなっています。万一の未入金発生時にもGPS機能により車両を回収し、代替のドライバーに提供するなど資産の保全にも備えています。さらに、IoTデバイスから取得されるドライバーの車両の移動履歴や返済情報を与信情報として活用し、クレジットカードや家電の分割払い等、提供可能な金融サービスがさらに拡充していきます。



カンボジア

QRコード決済・送金機能を備えた スマートフォンアプリを通じた 電子マネー事業

カンボジア現地法人であるAEON SPECIALIZED BANK (CAMBODIA) PLC. (以下、イオンスペシャライズド バンク カンボジア社) は2018年4月、モバイル型リエル建電子マネーサービスを開始しました。QRコード決済・送金機能を備えたスマートフォンアプリ「リエルペイ」の導入により、カンボジア政府が取り組む自国通貨の流通促進施策に貢献するとともに、誰にでもキャッシュレスな金融サービスを提供します。

現金決済が大半を占めるカンボジアにおいて、2011年、当社は現地法人AEON MICROFINANCE (CAMBODIA) Co., Ltd (現 イオンスペシャライズド バンク カンボジア社) を設立し、目的ローン事業を開始しました。2016年には邦銀初となるカンボジアでの専門銀行ライセンスを取得し、クレジットカード事業を開始するなど、設立以降、カンボジア国内における決済手段の多様化に貢献しています。今回のモバイル型リエル建電子マネーサービスの提供は、決済の利便性をさらに向上させ、クレジットカードおよびローンに加わる新たな決済手段としてあらゆる生活シーンに合わせた決済サービスの提供が可能になりました。

利便性だけでなく、リエル通貨の普及にも貢献

カンボジアでは、自国通貨リエルに代わり米ドルが広く流通していることから、カンボジア国立銀行によって、小売店でのリエル価格の表記の義務化や、金融機関に対し融資残高の10%をリエル建融資とするよう通達を出すなど、リエルの流通を促進しています。1米ドル＝約4,000カンボジアリエルと桁数が多いため、モバイル型リエル建電子マネーは持ち運びの不便さを解消するとともに、盗難時に支払機能を停止させることができるセキュリティを併せ持つことで、安全で便利な決済手段としてリエルの普及に貢献しています。

カンボジア、そして 東南アジアに 継続的な価値提供を期待

NATIONAL BANK OF
CAMBODIA

チーア・スレイ事務局長



イオン スペシャライズド バンク社は、それまでカンボジアにおいて浸透していなかった消費者金融を通じて、カンボジアの人々に新たな消費の方法をもたらしたと考えています。人口の70%が35歳未満と若いカンボジアにとって、電子マネーのような新しいサービスは人々のお金の使い方に大きなインパクトと与えることになると思います。今後もイオン スペシャライズド バンク社が日本や東南アジアの市場においてサービスを提供し続け、消費支出の選択肢を増やすことを願っています。

カンボジア政府とともに 社会的課題を解決

AEON SPECIALIZED BANK
(CAMBODIA) PLC.

代表取締役社長 安藤 武人



新しいモバイル型決済・送金機能サービス「イオンウォレット」は「リエルを便利に」を商品コンセプトとし、現金の持ち運びを不要にすること、ポイントサービスを買い物に利用できるなど、より多くの人々が金融・決済サービスにアクセスできる環境を提供しています。これは、簡単・便利な金融サービスの提供が現地通貨の普及に貢献すると考えるからです。私たちはこれからも金融サービスを通じ、人々の暮らしをさらに豊かにしていきます。